【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号　D-21-５
事業名　　臼沢地区雨水排水事業

事業費　　80,559,345 円
（内訳:本工事費 76,215,570 円、測量設計費 3,258,150 円、
用地補償費 1,085,625 円）

事業期間　平成 24 年度～平成 25 年度

事業目的・事業地区

臼沢地区は、後背地が急峻な地形であることから、大雨・豪雨時に短時間で出水し、これまでも浸水被害が発生していた。

当該地区内の既設水路は、寺野地区を経由し小鎚川に排水されており、寺野地区防災集団移転促進事業の計画区域内に位置している。

既設水路を利用することは防集団地造成後の住宅地の浸水が懸念されるほか、防集団地の区画計画についても影響を及ぼしていた。

本事業は、上記課題の解決を図るため、防集団地内を経由せずに雨水が直接河川へ排水されるよう雨水排水路の改良整備をすることにより、防集団地及び地区内に建設される災害公営住宅・県立大槌病院等の各種施設の雨水浸水被害の対策及び危険性の低減や、防集団地の効率的な区画計画を図るものである。

事業結果

平成 24 年度～平成 25 年度　臼沢地区雨水排水路整備工事
平成 25 年度　臼沢地区雨水排水路整備工事監督支援業務委託
平成 25 年度　臼沢地区雨水排水路整備に伴う境界確認及び調査業務委託
平成 25 年度　臼沢地区雨水排水路整備工事に伴う用地買収費
平成 25 年度　臼沢地区雨水排水路整備工事に伴う電線路等の移転工事補償

【事業概要】

樋門・樋管・水路工　L=27.58m、スライドゲート工　N=１基、階段工　N=１箇所
護岸工　一式、函渠工・留砂池　L=154.86m、組立式マンホール　N=３箇所

事業の実績に関する評価

本事業は、寺野地区における防災集団移転促進事業等の実施に併せ、当該地区における雨水浸水被害の対策として、既設排水路の改良整備をするものであり、事業完了後において浸水被害もなく適正に機能していることから、事業の有効性は高いと評価できる。

各種調査・分析・評価

①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

雨水排水路の整備完了後から令和元年度末時点において、大雨・豪雨等による浸水被害は発生しておらず、本事業により整備された雨水排水路が適正に機能していることから、本事業は適切に活用されていると考える。

②　コストに関する調査・分析・評価

・工事費の高騰

被災地における工事においては、建設資機材及び労務費の高騰が生じたことによる直接工事費の増大、また、これらの不足による作業効率の低下等から間接工事費についても増大が生じ、標準積算基準との乖離が発生。

これに対し、被災地積算基準の適用や間接工事費の割り増し（復興係数の導入）などの対策が講じられてきたところであるが、当地区においても工事費の高騰により事業費の見直しを実施している。

単位：千円

	第１回申請	第４回申請	最終（事業間流用後）
全体事業費	92,000	92,000	80,560

※ 第１回申請において、本事業を新規追加。
※ 第４回申請において、工事費の申請を行っている。
※ 第 22 回申請において、他事業に事業間流用を実施。

・岩手県下水道公社への委託

本工事の実施にあたり、震災の影響により町の土木及び下水道技術職員が不足し、当該事業の実施が困難な状況であったことから、専門的な知見及び経験を有する公益財団法人岩手県下水道公社と技術管理について委託協定を締結し、当該工事を実施した。

当該法人による技術管理支援として、当該工事の工程管理・施工管理及び品質等の管理を行ったことにより、確実な事業完了へ繋がった。

上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当であると考える。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	事業期間		備考
	計画	実績	
調査・測量・設計	H24.4 ～ H25.1	H24.7 ～ H25.6	工法変更及び他事業との工程調整のため
用地買収	—	H25.10 ～ H25.12	工法変更及び他事業との調整により用地買収の必要が生じたため
移転補償	—	H25.6 ～ H26.3	工法変更及び他事業との調整により移転補償の必要が生じたため
本工事	H24.6 ～ H25.3	H25.1 ～ H26.3	工法変更及び他事業との工程調整のため

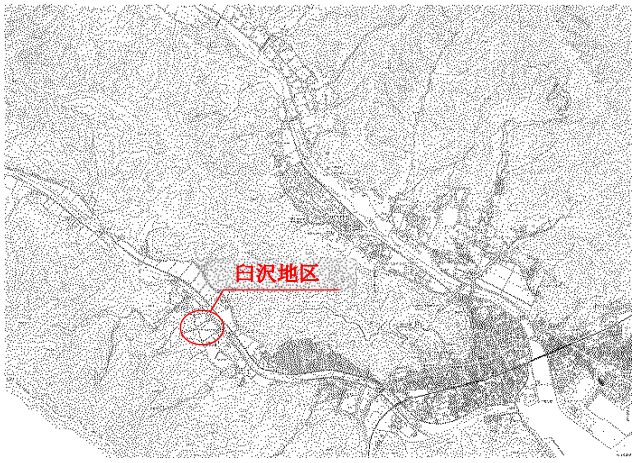
本工事実施における現場周辺の状況としては、隣接する町有地が工事着手時においては仮設小中学校用地として利用されており、工事実施中に寺野地区防集団地として盛土造成工事及び道路工事等が着手された。

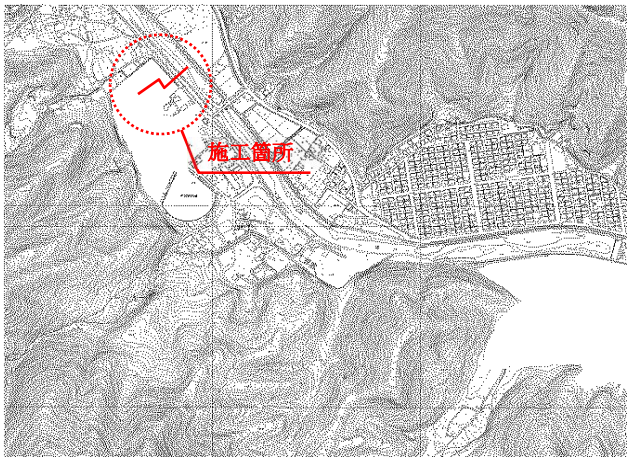
また、既設水路及び新設水路沿いに既存住宅があったため、当該工事の実施において十分な施工スペースの確保や既設水路の仮切り回し等が実施出来ない厳しい現場条件にあり、新たに用地買収、移転補償を行う必要があった。

上記理由により、工事期間中の工事現場及び現場周辺の安全性を考慮し、仮設土留工の実施・非出水期による施工等の対策を実施したほか、隣接する防集事業との事業間での工程調整行ったことにより、工事期間の延長・事業費の増額等変更が生じたものの、当該地区防集団地及び災害公営住宅等の供用開始前に当該工事を完了させることが出来ており、本事業の事業手法、期間は妥当であると評価できる。

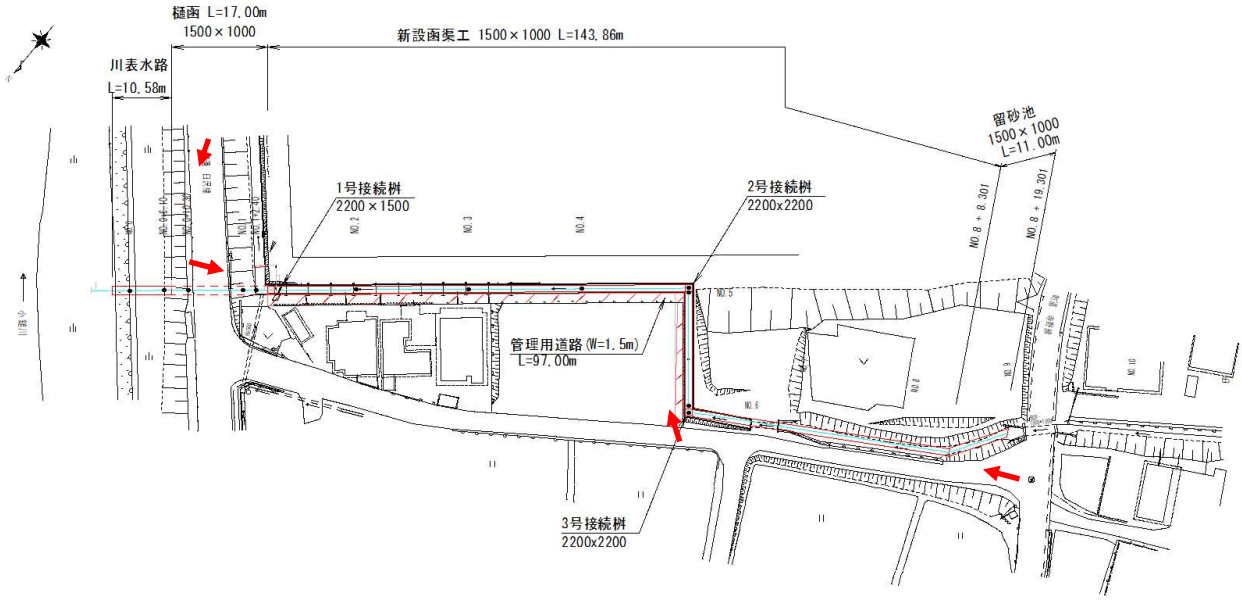
事業担当部局
　大槌町上下水道課　電話番号：0193-42-8719

【位置図】





【平面図】



【写真】

着工前(2011.10 撮影)

完成後(2015.8 撮影)

着工前(2011.10 撮影)

完成後(2015.8 撮影)

着工前(2011.10 撮影)

完成後(2015.8 撮影)

着工前(2011.10 撮影)

完成後(2015.8 撮影)